

議会だより

議長



田中 健一

副議長



白石 重成

議長に田中健一氏、
副議長に白石重成氏選出

平成27年第2回5月臨時会において

※議員名簿(17ページ)

総務企画委員会



委員長
井上 正則



副委員長
松田 美由紀



田中 健一



松崎 正和



松下 真一



高山 やす子



井福 大昌



中村 真一

福祉文教委員会



委員長
清水 純子



副委員長
大塚 みどり



天野 嘉久孝



森 和也



平井 信太郎



松崎 百合子

都市環境委員会



委員長
山上 高昭



副委員長
関井 利夫



関岡 俊実



白石 重成



福澤 信光



河村 康之

主 な 記 事

- ・特集 キッズステーション中央ぞう組さんとの対談…………… P2～3
- ・当初予算特集…………… P4～5
- ・3月定例会 代表質問(2会派)…………… P11～12
- ・3月定例会 一般質問(5人)…………… P13～15

特集

キッズステーション 中央ぞう組さん



市議会

平成27年2月にキッズステーション中央ぞう組さんを利用しているお母さんにお話を伺いました。

キッズステーションは、地域の中で親と子どもが「育ち・育てあう子育て」を目指しています。

子育てしやすい環境が充実し
楽しく安心して子育てができればいいなあ

〈議会だよりはご覧になりますか?〉

表紙は見ますが中までは見ません。(笑)

〈議会がどこにあるかご存じですか?〉

どこにあるか知りません。(笑)

〈議会、議員のイメージは?〉

子育てでいっぱいであまり考えたことがありません。(笑)

議会で何を決めるかがわかれば、たとえば何か子どもに関して決めるようなことがあれば傍聴にいきます。議会で決まってい

ることが、高齢者向けの内容が多いと感じますし、また男性目線が多く、女性目線ではないように思います。また、託児サービスがあれば、もっと参加できるのかもしれないと思います。

〈キッズステーションの活動は?〉

同じメンバーで週一回集まります。保育において同じ悩みを相談し、少しでも解決になればと思って参加しています。

家の中で遊ぶにしても、2人きりではなく他に遊べる人がいればいいなと思います。



公園にいる人も少なく、近くにきれいな公園が少ない。また花粉とPM2.5も気になり、外で遊びにくいですね。

〈子育てさんひろばとかなには行かないのですか?〉

そつさんひろばには2歳くらいまでかな。子どもが走り回るようになると赤ちゃんが多いところは危ないから、3歳になると行くことがないです。

すこやか交流プラザでは幼稚園生くらいで、3歳から幼稚園に入るまでの子が遊べるところがないですね。

朝出かけていって3時くらいまで遊べるところがほしい。お弁当が食べられるスペースがほしいですね。

〈子育ての悩みは?〉

幼稚園に行くようになるまでが大変。今日一日なにして遊ばつかと悩みます。

外で遊んでもなかなか子どもが疲れない。春先は花粉やPM2.5がひどくなって外で遊べなくなる。

幼稚園の夏休みが長いのも大変。

毎日プールに連れていくのも、連れていく自分が疲れてしまいます。

遊ぶところがないのでお金を払って室内で遊べるところを探さなければならぬ。

医療費がかかります。病院も一カ所では済みませんからね。

〈子育てに関して何か議会への要望がありますか?〉

医療費の負担が大きいため医療費の補助を拡大してほしい。おむつの配布があると助かる。ちょっとした子育て用品やゴミ袋の配布でもありがたい。

公園についてですが、広いのに遊具が設置されていない公園がある。一定の距離のところに遊具が設置されてあれば使いやすい。また遊具があっても遊具のところに日陰がなく、夏は長く遊べない。公園の整備を検討してほしい。



春日市には室内プールがある。またスポーツセンターもある。本市でも小さい子が遊ぶところを考えてほしい。本市のプールではウォータースライダーがあるが年齢が上からないと使えない。

中学校の完全給食を実施してほしい。子どもが手を離れたら働き始めたいけど、弁当が必要だからと思うと踏み切れないんですね。

本日は色々なご意見をいただきありがとうございました。今後の議会活動の参考とさせていただきます。

キッズステーションを運営しているNPO法人チャイルドケアセンターでは、他にも子どもに関する様々な事業を行っています。

【お問い合わせ先】

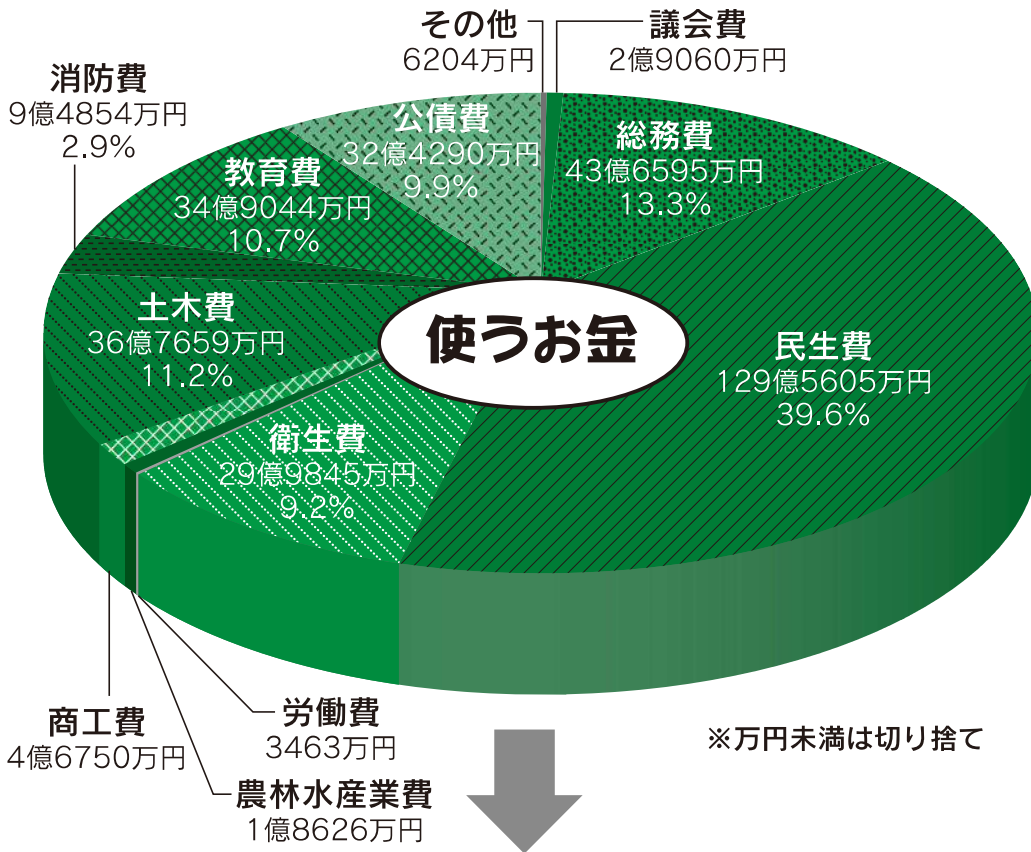
平日9時～16時まで
☎0500-800800

みんなで作るふるさと!

平成27年度一般会計予算 歳出

327 億 2000 万円

3月
定例会



平成27年3月定例会を、2月23日(月)から3月17日(火)まで開催。
41の議案を審議し、全て可決・承認。その他、報告が2件。
2会派が代表質問。5名の議員が一般質問。

教育費	民生費
<ul style="list-style-type: none"> ① 平野中学校プール増設 5668万円 ② 学校グラウンド防塵対策 590万円 ③ 通級学級設置事業 2197万円 	<ul style="list-style-type: none"> ① 中学生デートDV研修 31万円 ② 大野南保育所改修工事 9063万円 ③ 生活困窮者自立支援事業 863万円
消防費	土木費
<ul style="list-style-type: none"> ① 総合防災訓練事業 263万円 ② 崩落危険箇所対策 614万円 ③ 消防ポンプ車購入費 2353万円 	<ul style="list-style-type: none"> ① 大文字公園陽火台改修 731万円 ② 耐震改修促進計画事業 1501万円 ③ 交通量調査事業 680万円

街のすがたが変わる?!



安全安心のにぎわいある街に!

①(仮称)大野城トレイル整備事業

市内外の方々が、本市の歴史遺産や自然、文化などの地域資源に歩きながら触れることを通して、健康づくりやふるさとへの愛着を深め、また、観光振興にもつながる取り組みとして、トレイル(散策路)を整備する。

今年度は、測量設計などの業務委託料や工事費として4310万円を計上している。整備期間は、平成29年度までを予定しており、整備費は総額で約2億円となる見込み。

整備の範囲は、牛頸から乙金までで、7つのルートを予定している。具体的には、
①大城付近の大野城ルート
②水城跡近くの水城ルート
③上大利付近のため池群ルート

④御笠川堰堤上を歩けるよ
うな御笠川ルート
⑤牛頸川を中心とした牛頸川と田園ルート
⑥牛頸の窯跡群をめぐる牛頸窯跡ルート

⑦太宰府に抜ける昔の道路をめぐるにぎわいルート

②中心市街地活性化基本計画見直し・策定事業

平成11年に策定した前計画を、当時からの状況の変化に対応させ、中心市街地の活性化をハードとソフトの両面から計画的、具体的に実現するために見直しを行う。これに伴う計画策定業務委託を27、28年度の2カ年契約で行う。中心市街地の範囲は、JRから県道112号線(旧3号線)までの間と設定している。商工会や地元の方々、商店会が行う様々なイベント等を支援できるような計画内容を考えている。

③交通バリアフリー基本構想改正事業

平成14年に策定した既存の基本構想を見直し新たな構想を策定する。旧構想の検証と並行して、市民の方々と実際にまち歩きを行い、改良点等のご意見を踏まえながら新たな構想を策定したいと考えている。



教育も変わる!?

水城跡保存整備事業

本市と太宰府市、福岡県、九州歴史資料館で共同策定した「特別史跡水城跡保存整備基本設計」に基づき、水城跡の保存整備を行う。平成27年度は、水城跡西側「水城ゆめ広場」の2期工事であり、四阿(あずまや)、外周フェンス、ベンチ、水城跡西門周辺の発掘調査等を行う予定。事業費は5170万円を計上。

水城跡史跡等買上げ事業

水城跡の保存・整備のため、JR水城駅西側の宅地3軒5筆を買上げる。土地購入・移転補償金で約2億6000万円。

文化財公開活用資料整備事業

埋蔵文化財及び民俗文化財のデータベース化を行う。平成27年度から、約10年かけて整備していく。

総合教育会議運営事業

教育委員会制度改革に伴い、総合教育会議を開催するもの。

いくことになる。また、この会議では、重大ないじめ等の教育問題への対応も協議することになっている。

中学校生活に関する意見交換会事業

小学6年生・中学生・教師・保護者と、中学校ランチサーブス等をテーマとした自由な意見交換会を行うもの。

討 論

第10号議案 大野城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対

国は、施設から在宅へ政策誘導を進めているが、今後の財源は消費税の増税頼みであり、根本的な制度の改正なしには維持することも不透明である。サービスの切り捨てと利用者負担増をしても介護保険料は今後も上がり続け、2025年には、全国平均で月8200円になるといつのが政府の見通しである。

地方の制度運営も事業所の運営も、また、高齢者自身の負担も限界になりつつある状況での保険料の値上げには、全く賛同はできない。
国へ国庫負担割合の大幅な引き上げを要求する。



第29号議案 平成27年度大野城市一般会計予算について

反対

自治体の年度予算は、住民本位の要求やサービスを最優先に実行することが最大の責務だと考える。

国や政府が、大野城市民の生活基盤や、子育て・教育・福祉・安全を脅かすような政策を押しつけるならば、その防波堤の役目を果たし、市民を守る責任がある。この観点から当初予算を検証してみた。

大文字祭りのときに二日間だけ使う陽火台のガス管改修に、730万円の予算は妥当な金額なのか。

また、人権・同和団体支援事業の約500万円は、全く見直されないまま計上されている。今回も指摘をするが、補助金申請団体の意向を伺うのはなぜか。この事業がある限り、本市の市民団体やサークルへの補助金を、一方的に減額をしたり、中止をしたりすることは、法の公平性からも、できないことだと考える。

この二つの事業費約1230万円は、小学校の学校司書の賃金

に相当するものである。どちらを優先すべきだろうか。

平成27年度大野城市一般会計予算は、住民自治の本旨に基づいた市政運営に欠けているのではないか。

賛成

学校・家庭・地域が連携し、児童・生徒を育成していくための環境整備や、高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる町を目指す健康づくりと福祉の充実、地域包括ケアの体制整備など、さまざまな事業計画がされている。

第5次総合計画後期基本計画に基づいた各種事業や、市民サービス向上の実施に向け、今後も厳しい財政状況が懸念されることろであるが、なお一層の行財政改革に努め、将来に負担を残さない財政構造を確立されることを望む。

提案された平成27年度当初予算については、限られた経営資源を効果的に配分され、将来の大野城市における地方創生にとって評価できる予算編成である。

審 議 結 果 一 覧

平成27年 第1回 3月定例会

議案番号	件 名	本会議結果	付託委員会
第1号議案	大野城市部設置条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	総務市民委員会
第2号議案	大野城市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	〃	〃
第3号議案	大野城市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第4号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例及び大野城市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	福祉文教委員会
第5号議案	大野城市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	〃	〃
第6号議案	大野城市教育委員会の委員の定数に関する条例の制定について	〃	〃
第7号議案	大野城市いじめ防止条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第8号議案	大野城市保育所における保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について	〃	〃
第9号議案	大野城市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第10号議案	大野城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成18・反対1)	〃
第11号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	〃
第12号議案	大野城市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第13号議案	大野城市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃

議案番号	件名	本会議結果	付託委員会
第14号議案	大野城市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	全会一致 可決	福祉文教委員会
第15号議案	大野城市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	//	//
第16号議案	大野城市空き家等対策審議会設置条例の制定について	//	都市環境委員会
第17号議案	福岡県市町村職員退職手当組合格約の変更について	//	—
第18号議案	市道路線の廃止について	//	都市環境委員会
第19号議案	市道路線の認定について	//	//
第20号議案	大野城市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	—
第21号議案	平成26年度大野城市一般会計補正予算(第5号)について	全会一致 可決	予算委員会
第22号議案	平成26年度大野城市一般会計補正予算(第6号)について	//	//
第23号議案	平成26年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第24号議案	平成26年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第25号議案	平成26年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第26号議案	平成26年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計補正予算(第1号)について	//	//
第27号議案	平成26年度大野城市水道事業会計補正予算(第3号)について	//	//
第28号議案	平成26年度大野城市下水道事業会計補正予算(第3号)について	//	//
第29号議案	平成27年度大野城市一般会計予算について	賛成多数 (賛成17・反対1)	//
第30号議案	平成27年度大野城市国民健康保険特別会計予算について	全会一致 可決	//
第31号議案	平成27年度大野城市介護保険特別会計予算について	賛成多数 (賛成18・反対1)	//
第32号議案	平成27年度大野城市後期高齢者医療特別会計予算について	全会一致 可決	//
第33号議案	平成27年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計予算について	//	//
第34号議案	平成27年度大野城市土地区画整理清算金特別会計予算について	//	//
第35号議案	平成27年度大野城市水道事業会計予算について	//	//
第36号議案	平成27年度大野城市下水道事業会計予算について	//	//
第37号議案	大野城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	総務市民委員会
第38号議案	公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について	//	福祉文教委員会
第39号議案	平成26年度大野城市一般会計補正予算(第7号)について	//	予算委員会
第40号議案	平成27年度大野城市一般会計補正予算(第1号)について	//	//
第41号議案	大野城市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	//	—
報告第1号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	—
	議会活動活性化調査特別委員会最終報告	報告	—
	第29号議案平成27年度大野城市一般会計予算に対する修正動議	賛成少数 否決 (賛成2・反対17)	—

賛否の分かれた議案(平成27年第1回3月定例会)

議員氏名	新生倶楽部					公明党				新風			新政フォーラム		虹ネット		おおのじょう未来		会派に所属していない議員	
	岡部 和子	永野 義人	香野 信儀	田中 健一	山上 高昭	井上 正則	白石 重成	福山 保廣	丸山 恵美子	神野 芳行	佐藤 義廣	天野 嘉久孝	松崎 正和	関岡 俊実	清水 純子	松田 美由紀	浅田 大輝	高山 やす子		松下 真一
第10号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○
第29号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	退	○	○	○
第29号議案 修正動議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	○	●	○	●
第31号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○

(○：賛成、●：反対、退：退席、—：議長は表決に加わらないため)

委員会報告

～主な審査内容～

総務市民委員会

第1号議案

「大野城市部設置条例等の一部を改正する条例の制定について」

第2号議案

「大野城市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について」

Q 今回の機構改革の目的は

A 二つ大きなテーマがあり、一つは高齢者施策や危機管理など目的を明確にした部門を設置し、組織の最適化をはかること、もう一つは、細分化されている担当の組織をできるだけ統合し、人材育成の面も含めて職員の執行体制を強化するものである。

Q 危機管理部を新設する理由は

A 災害などの危機事象が全市に及ぶような場合、市長をトップとして市役所全体を挙げて対応しなければならないケースも予想されることから、単独した部を設置し、より効果的な動きがとれるようにするため。

第37号議案

「大野城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」

Q 地域手当とはどのようなものか

A 国家公務員は、全国の地域ごとの給与水準を適正化するため、全体の月例給料を低い地域の水準に引き下げて、各都市の状況に応じて算出された率の地域手当を支給している。今回、国家公務員の給与の総合的見直しに準じて本市も地域手当の改定を行う。

福祉文教委員会

第6号議案

「大野城市教育委員会の委員の定数に関する条例の制定について」

Q 教育委員会の委員について

A より一層幅広い人材の任命を行っていくため、教育委員の人数を5人とする。

国は、委員の中に保護者の代表、学校運営協議会の関係者及び学校教育のチェックができる者を入れるべきとしており、このことを踏まえて選任される。

第9号議案

「大野城市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 保育料の徴収について

A 保育料は、毎年国の定める公定価格に基づいて市が設定し、保護者から徴収している。この手順は今回の法律改正後も変わらない予定である。児童手当からの保育料の徴収については、保護者の了解を書面でもらった上で行っており、今後も同様に運用していく。

第14号議案

「大野城市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について」

第15号議案

「大野城市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について」

Q 地域包括支援センター運営協議会について

A 地域支援事業に関する諮問機関であり、施策のチェック等を行っている。

メンバーは、一般市民や介護保険に詳しい有識者、医療機関等で構成されている。



都市環境委員会

第16号議案

「大野城市空き家等対策審議会設置条例の制定について」

Q 空き家等とは何を指すのか

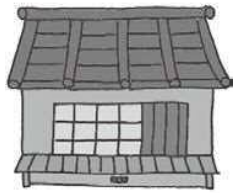
A 建築物又はこれに付随する樹木等及び空き地。

Q 審議会の委員はどのような人になるのか

A 現在検討中だが、案として地域住民・弁護士・司法書士・学識経験者等 10 名以内とする。

Q 審議会の特定事項とは何か

A 空き家等が特定空家等に該当するかどうかの判断や特定空家等に対する立入調査及び措置の方針など。



第18号議案

「市道路線の廃止について」

Q 道路でなくなるデメリットはあるか

A 市としては、デメリットは生じない。

第19号議案

「市道路線の認定について」

Q まだ歩行者専用道路としての形ができていない状態でも認定はできるのか

A 道路法上、道路の体をなしていなくても認定はできる。供用開始の法律行為をすると一般に通れることになる。

予算委員会（補正予算）

第22号議案

「平成 26 年度大野城市一般会計補正予算（第6号）について」

（補正前の額） （3月補正額） （補正後の予算額）
319億3984万5千円+▲2億7945万4千円=316億6039万1千円

Q 公共施設整備基金について、基金積立から市債に振り替えた理由は

A 事業が適債事業と認められたもので交付税措置のある市債を借り入れる方が有利なため。

Q コミュニティセンター指定管理者の会計処理の資質向上のための体制づくりとは何か

A 各コミュニティセンターの会計処理関係、税処理関係について適正に進めるため、公認会計士の顧問委託をする。

Q 下大利駅東土地区画整理事業の進捗状況は

A すでに換地処分が終わったところである。現在、下大利駅東線を仮線敷として利用しており、連立事業により、その仮線が撤去された後に道路整備を計画している。

第39号議案

「平成 26 年度大野城市一般会計補正予算（第7号）について」

（補正前の額） （3月補正額） （補正後の予算額）
316億6039万1千円+6億4473万4千円=323億512万5千円

Q 子育て応援「大野ジョー券」の使用について

A 子育て応援「大野ジョー券」については、プレミアム付き商品券が使える店舗はどこでも使えるようにしたい。

Q プレミアム付き商品券の内容について

A 20%のプレミアム付き商品券を3億円分、商工会が発行する。プレミアム分6000万円は、国が4300万円、県が1700万円を負担する。



予 算 委 員 会（当初予算）

第29号議案

「平成27年度大野城市一般会計予算について」

Q 1350年記念事業の内容は

A 4市2町を中心とする実行委員会の共同事業として、12月に実施予定。午前は式典を中心に基調講演等を行い、午後は子どもたちのステージ、歴史に造詣のある著名人の講演、映像の上映等を企画していく。

Q マイナンバー制度の内容は

A 国民ひとり一人、正確には住民基本台帳に登録されている人全員に、独自の番号を付与して、個人の識別を確実にする制度で、所得等を正確に把握したり、社会保障制度の受給資格を把握したりする。国民全体の公平を図る事が大きな目的である。

Q 土砂災害特別警戒地域の固定資産税の減免について

A 昨年は、3月に土砂災害特別警戒地域の区域指定があったので、税の賦課前であることで減免措置を行ったが、本年度は1月1日現況で減額措置された評価となっており、評価額は下がっている。

Q 中1ギャップ対策の小中連携教育推進事業と学力向上支援委員派遣事業の内容について

A 小中連携教育推進事業は、学力の面において、小学校から中学校への円滑な接続を図るものである。小中学校の教員で構成されている学力向上推進協議会で作成した宿題を小学校卒業時に児童に配布し、中学校入学後に宿題を提出し中学校の教員が続けて指導にあたる。

また、学力向上支援委員派遣事業では、学力の個人差が生じやすくなる小学校2年生から4年生までの算数の個別指導を行うため、専任の先生を1名ずつ3校に配置するものである。



Q（仮称）ランドセルクラブの概要について

A 子どもの自由な遊び場として週2回開催している小学校の放課後子ども教室と学童保育の連携を図り、国が進める「放課後子ども総合プラン」に沿った事業に見直しを行っていく。寺子屋事業や新たな事業を追加して、段階的に週5日の開催を目指す。

Q 介護予防給付の地域支援事業の移行内容について

A 本市は、公設民営のデイサービスがあり、まどかスクールの介護予防事業も行っており、新しい総合事業、緩和した基準での一般雇用者によるデイサービスを始めることとし、気軽に集まれるような地域福祉の拠点としたい。



Q 若い世代の健（検）診体制整備事業の内容について

A 健（検）診の習慣化と生活習慣を見直す機会を確保することが目的。35歳の一般健診の料金について、通常4200円を1000円にし、40歳からの特定健診につなげる。肺がん検診の対象年齢を40歳以上から20歳以上に拡大する。子ども連れの受診者のために託児を実施する。

Q 高架下の市街地活性化計画検討事業の状況について

A 市民ワークショップ、事務局によるデザイン会議、各沿線の区長さん等による会議を進めており、各駅間の高架下のゾーニングのイメージを固めている状況である。来年度以降、市民を交えたワークショップを通じて、具体的な施設を会議で練り上げていく。

平成28年度以降に庁内の合意、西鉄、県等関係機関と調整を図り、平成29年度以降に具体的に決定していきたい。

Q 自転車走行空間整備事業の内容について

A 南ヶ丘交差点から春日原上大利線、上大利のセブンイレブンまでの1.3kmに自転車走行レーンの整備を予定している。今回の下大利南ヶ丘線については、歩道の中に自転車走行区分帯を設け交通の安全と円滑を図る。

代表質問

～ 大野城市長の考えを問う ～

代表質問とは？

市長の施策方針及び初心表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行います。

会 派	新生倶楽部	会 派	おおのじょう未来
所属議員	岡部 和子 永野 義人（質問者） 香野 信儀 田中 健一 山上 高昭	所属議員	浅田 大輝（質問者） 高山 やす子
内 容	1. 平成 27 年度施政方針について 2. 政府が推進する地方創生事業について	内 容	1. 財政フレームについて 2. 都市ブランド戦略について 3. エビデンスベースト（科学的根拠）にもとづく政策判断及び政策評価について

平成27年度施政方針について

新生倶楽部

問（仮称）大野城心のふるさと館の平成29年度オープンまでのスケジュール等は

答 平成28年度から平成29年度にかけて建設工事を行い、平成30年3月完成予定を進めている。

施設は、子どもたちが体験を通じて郷土の歴史を学べる場とするとともに市の魅力を発掘・発信するためのシティプロモーション事業にも取り組んでいく。

問（仮称）歴史をつなぐ路の完成後に計画されているイベント等について

答 事業については、市民ワークショップ等で検討している。

問 西鉄連続立体交差事業の完成までのスケジュールについて

答 平成25年度までに仮線への切りかえを実施し、平成32年度に高架への切りかえが行われ、平成33年度完成予定である。

問 下大利駅東線等の生活幹線道路の整備事業について

答 下大利南ヶ丘線等、5つの路線

の整備事業を進めている。

問 駅周辺拠点整備事業について

答 下大利駅及び白木原駅の駅前広場や駅へつながる街路等の整備を行っている。

問 福岡都市圏南部最終処分場の進捗状況は

答 現在、浸出水調整池工事や埋立地法面の遮水工事などを行っており、1月末の工事進捗率は、事業費ベースで70.5%である。管理棟及び浸出水処理施設建設工事の1月末の工事進捗率は、事業費ベースで12.5%である。



西鉄連続立体交差完成イメージ
(白木原駅北側)

事業の「効き目」を計り、測り、量る

おおのじょう未来

問 今後さらなる財政需要の増大が予想される中では、政策・事業の費用対効果をさらに高めていく必要があります。「エビデンス（科学的根拠）」に基づく政策判断」という考え方はあらゆる行政機関において必要不可欠と考える。大学等の研究機関との連携を図りながら、試行的に、科学的な評価分析を実施してはどうか、市長の見解を伺いたい

答 本市では、市民満足度の向上、費用対効果並びに事務の効率化を図ることを目標に、事務事業評価を行っているところである。より費用対効果の高い事業の企画立案に役立てるため民間や大学等の研究機関との連携も視野に入れながら、有効な評価手法やデータを用いた科学的、統計学的分析を必要に応じて取り組んでいけるように調査・研究を進めていきたいと考えている。

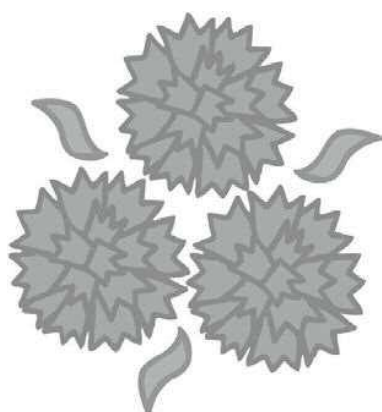
問 多くのデータを正確に分析した上での政策立案を行える行政官が必要と考える。統計学の素養、データ解析等のスキルを習得できるような研修等を行っていくべきだと考えるが、人材育成の観点から市長の見解を伺いたい

答 市民ニーズが多様化、専門化している現在の状況を踏まえると、高度な情報分析能力と政策立案能力を有する職員を育成する必要性は高いと考えており、統計学や論理的思考をテーマとした研修を強化していきたいと考えている。



◆ 議会の動き ◆

- 1月28日 福岡県町村議会議員研修会 (福岡市)
- 2月16日 議会運営委員会
会派代表者会議
全員協議会
- 18日 全国議会議長会地方行政委員会 (東京都)
- 23日 本会議(初日)
総務市民委員会
予算委員会
広報委員会
- 27日 議会運営委員会
- 3月3日 本会議(2日目、質疑)
総務市民委員会
福祉文教委員会
都市環境委員会
- 4日 都市環境委員会
- 5日 予算委員会(補正)
- 6日 予算委員会(当初)
- 9日 予算委員会(当初)
- 10日 予算委員会(当初)
- 11日 議会運営委員会
本会議(3日目、一般質問)
会派代表者会議
- 12日 本会議(4日目、一般質問)
総務市民委員会
福祉文教委員会
予算委員会(補正)
- 17日 本会議(最終日)
全員協議会
- 4月2日 広報委員会
広報委員会
- 16日 広報委員会



- 5月7日 会派代表者会議
- 8日 本会議(臨時会)
議会運営委員会
総務企画委員会
福祉文教委員会
都市環境委員会
予算委員会
- 21日 福岡県中部十市議会議長会 (宗像市)

一般質問 ～ これからの大野城を問う ～

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市に対して質問を行います。
今回の一般質問で皆さんにとって重要な内容はありましたか？

注：★がついている内容を掲載しています。

古賀 健一 ★御笠川東部地区の水害対策について
●市役所駐車場の混雑緩和について

清水 純子 ★フッ化物洗口について
●障がい者の自立のための雇用支援について

松下 真一 ★住民の要求に対する本市の見解について

松崎 正和 ★歴史資料館（（仮称）大野城心のふるさと館）建設について
●買い物代行「ごきげんお届け便」について
●まどかびあの施設管理について

松田美由紀 ★子ども・子育て支援新制度について
●市のホームページについて
●中学校給食に対する保護者説明会実施について

御笠川東部地区の水害対策について

古賀 健一



問 御笠川の東側の低地地区ではこれまででも浸水被害が出ており、高台の乙金の区画整理の影響が心配される。土砂災害や雨水氾濫対策は

答 土砂災害に対しては日本道路協会の道路土工指針に沿って設計・施工を行っており、安全性は保たれている。雨水対策は水路・側溝は10年確率降水量を想定し整備している。開発に伴う雨水流出の増加に対応するため、事業地内に7か所の調整池を設けている。

問 開発前の事業地は山林や畑だったので雨水は地下に浸透し涵養されていたが、コンクリートやアスファルトに覆われたので地下に浸透できず一気に下流に流れ下るのでは

答 その対策として調整池を設けている。調整池とは大雨の時に一時的に雨水を貯めて徐々に放流し、下流域の氾濫を抑えるものである。事業地内7か所の調整池から下流域へ排水される最大水量は毎秒約3.5トン以下に



御笠川（平成15年）

おさえる設計であり、事業前の水量以下になっている。

問 下流域にきた雨水はどのように排水するのか

答 下流域の浸水対策では、10年確率の時間雨量60ミリの排水能力の水路整備を進めている。それ以上の雨に対しても御笠川等へ流れ込みが集中しないように、雨水を貯留する施設を設けたり、唐山池・此の岡池などのため池を活用し雨水流出の調整を図り、下流域の浸水対策に取り組んでいる。

住民の要求に対する 本市の見解について

松下 真一



問 (仮称) 大野城心のふるさと館建設について

答 ふるさと館の建設については、これまで様々な手段で情報発信を行ってきており、周知は着実に進んでいるものと考えている。

問 教育環境の整備について

答 中学校のランチサービスは、栄養バランスのいい昼食であり、完全給食と変わらないと考える。また、通級教室については、子どもに合わせた教育条件を整備したいと思う。

問 子育て支援策の充実について

答 保育料の階層区分の見直しは、子育て支援事業全体の優先順位も含め、慎重に検討する。子どもの医療費の年齢を拡充した場合の試算は、入院を中学3年生まででは、約一千万円の増。通院を小学6年生まででは、約1億円の増、通院を中学3年生まででは、約1億5千万円増となる。県の情報はまだない。

問 介護保険制度について

答 介護保険料の減免の状況は平成26年が6名。介護施設の利用料補助の状況は、平成26年7月時点で、利用者546人中417人が補給給付を受けている。

介護職員の処遇改善は、市費を使っての上乗せ給付は検討していないが、市内事業者に対する監視は行う。

問 住環境の整備として、上下水道

答 料金の見直し計画は
上下水道事業は、中期経営計画の期間中は、現在の料金を維持できると考えるが、赤字が予想される料金引き下げの計画変更は想定していない。



どう変わる？ 子ども・子育て支援新制度

松田 美由紀



問 保育必要量の区分である保育短時間の場合、7時から8時半と16時半から18時までが延長保育になる。延長保育料とその検討方法について

答 延長保育料は、保育標準時間と保育短時間の月額保育料の差額を基本として検討する。

問 従来の制度と新制度と比べ所得が同一と仮定し短時間区分された場合、費用負担はどのようになるのか

答 現在検討段階だが、国の基準通常保育料と比較すると、負担の増加額は、第1・第2階層は差額が0円、第3階層は2000円、第4階層は4000円、第5階層は6000円、第6階層は9000円、第7階層は12000円、第8階層は16000円と、所得が高くなるにつれ、差額も大きくなる。

問 保育短時間区分世帯が多い場合、保育園の運営に影響はないか

答 各保育所の運営に大きな影響は出ないものではないかと想定している。

問 保育士等職員の処遇改善について

答 本事業の目的である保育士確保の効果が大きかったとは言えない状況だが、2年間の事業実施で事業効果を判断することは難しい。平成27年度以降は平成26年度までの補助事業としての実施ではなく、保育所運営費として給付する施設型給付費に計算する形で、各私立保育所に毎月支給することになっている。



フッ素洗口は
集団で必要ですか？

清水 純子



問 「福岡県歯科口腔保健推進計画」によると、12歳児のむし歯本数を平成30年度までに1.0本にするとしているが、本市のむし歯の状況について

答 本市の12歳児の虫歯を経験した永久歯の数は、1人平均0.78本。福岡県が目標としている1.0本に、既に達成している。

問 学校では、児童・生徒に口腔衛生、むし歯に関して指導し、その結果、むし歯や口腔の状況は、改善しているのか？

答 筑紫学校歯科医会からの歯科衛生士の派遣により、全小学校2年生を対象に、染め出し剤を用いた歯磨き指導と学級活動にて、歯の磨き方や、虫歯になる原因などについて、予防の指導等も行っている。また、児童・生徒の健康診断では、全学年で歯科検診を行っている。

問 学校での集団フッ化物洗口は、アレルギーなどの児童・生徒がいる中、異変が発生した時、誰がどのように対応し責任を持つ

のか

答 仮に、学校で集団フッ化物洗口を実施するとした場合、さまざまな健康状態の子どもたちがいることから、その対応を考慮しなければならぬと考えている。

問 フッ化物洗口の安全性について、教育委員会はどのように判断されているのか

答 危険性も含めて、今後の科学的な見地を根拠とし、有識者の見解を待ち、慎重に対応する。



『(仮称)大野城心のふるさと館』
よりも他に必要なものが

松崎 正和



問 建設費二十三億円、維持管理費年間一億三千万円弱。緊急性も感じられないし、多くの市民が疑問を持っている施設建設が始まったようだが、このような莫大な費用投下をしてまで、なぜ今この施設が必要なのか

答 現在、本市では、連続立体交差事業を初め、長年にわたって取り組んできた都市基盤整備が完了を迎えつつある。

このような中、少子高齢社会における喫緊の課題に対して必要な施策を講じる一方、本市の将来を見据え、人と人とのつながりを大切にするコミュニティ都市への更なる一歩として、市民のふるさと意識を醸成する施設となる(仮称)大野城心のふるさと館の整備に着手したところであり、今なすべき重要な施策であると考えている。

問 この施設建設は、市民への丁寧な説明もなく、建設ありきで進められてきた印象を持つが、市民の理解は得られていると思うか。そうだとすると、その根

拠は何か

答 ふるさと館の整備については、私が市長二期目の時にマニフェストに掲げさせていただき、二期目就任後平成二十一年に策定した第五次総合計画後期基本計画の中に明記した。

また、整備にあたっては、基本計画の段階から市民の参画の下に進めている。これまで市民ワークショップを五回開催し、延べ四百人を超える自主参加を得て、活発な意見交換が行われていることから、市民の理解と共感

は深まっている。



織布



人面墨書土器

正副議長、 各委員会の委員選出

5月
臨時会



予算委員会
委員長 関岡 俊実



議会運営委員会
委員長 天野 嘉久孝



議会選出監査委員
高山 やす子

平成27年5月臨時会を
5月8日(金)に開催
9の案件を審議し、
全て可決・承認・同意・
指名推選。報告1件。

審議結果一覧

平成27年 第2回 5月定例会

議案番号	件名	本会議結果	付託委員会
第42号議案	大野城市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	総務企画委員会
第43号議案	専決処分した事件の承認について (大野城市税条例等の一部を改正する条例)	全会一致 承認	—
第44号議案	専決処分した事件の承認について (大野城市都市計画税条例の一部を改正する条例)	〃	—
第45号議案	専決処分した事件の承認について (大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	賛成多数 承認 (賛成17・反対1)	—
第46号議案	大野城市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	—
第47号議案	大野城市監査委員の選任について	全会一致 同意	—
報告第2号	専決処分の報告について (公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	—
	筑慈苑施設組合議員の選挙	指名推選	—
	福岡都市圏南部環境事業組合議員の選挙	〃	—
	閉会中の所管事務調査について (議会運営委員会)	承認	—

賛否の分かれた議案(平成27年第2回5月臨時会)

議員氏名	改革フォーラム					自民大野城					公明党			自民まどか			会派に所属していない議員			
	松崎 正和	関岡 俊実	松田 美由紀	福澤 信光	松崎 百合子	天野 嘉久孝	山上 高昭	森 和也	井福 大昌	中村 真一	井上 正則	白石 重成	河村 康之	大塚 みどり	高山 やす子	田中 健一	平井 信太郎	関井 利夫	清水 純子	松下 真一
第45号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	●

(○：賛成、●：反対、欠：欠席、—：議長は表決に加わらないため)

◆平成26年度視察受け入れ◆
 ○訪れた議会・議員数
 40 県市町議会 293 人

○主な視察内容
 ・ワンストップ総合窓口
 「まどかフロア」 11 件
 ・行政評価システム 7 件
 ・教育サポートセンター 5 件
 ・その他
 ・高齢者移動支援事業
 ・共働によるコミュニティ
 〇〇〇
 など

◆視察来庁◆

1月23日 宮城県名取市
 29日 千葉県八街市
 30日 千葉県袖ヶ浦市
 2月2日 兵庫県三田市
 5日 茨城県水戸市



大野城市議会議員名簿

[任期:平成27年5月1日～平成31年4月30日]

平成27年5月11日現在

	氏名	住所	電話	F A X	予算委員会	議会運営委員会	広報委員会	所属党派 (☆は代表者)	
議長 (総務企画委員会)	たなか けんいち 田中 健一	〒816-0971 大字牛頸1336-2	595-2712	595-2712				自民まどか	
副議長 (都市環境委員会)	しらいし しげなり 白石 重成	〒816-0943 白木原1-9-38-202	582-4828	582-4828			委員長	公明党	
総務企画委員会	委員長	いのうえ まさのり 井上 正則	〒816-0964 南ヶ丘7-4-13	596-7084	596-7084	○	○	☆公明党	
	副委員長	まつだ みゆき 松田 美由紀	〒816-0983 月の浦5-11-15	577-0884	577-0884	○		改革フォーラム	
	委員	まつざき まさかず 松崎 正和	〒816-0964 南ヶ丘1-14-27	596-0900	596-0900		○	☆改革フォーラム	
	委員	まつした しんいち 松下 真一	〒816-0981 若草2-27-15	自 596-3405 事 596-5417	596-3405	○			
	委員	たかやま やすこ 高山 やす子	〒816-0904 大池2-11-2	自 503-3080 事 287-2155	503-3080	○	○	☆自民まどか	
	委員	いふく だいすけ 井福 大昌	〒816-0943 白木原1-2-15-102	515-6678	—			○	自民大野城
	委員	なかむら しんいち 中村 真一	〒816-0922 山田1-6-12	501-5317	—			○	自民大野城
福祉文教委員会	委員長	しみず じゅんこ 清水 純子	〒816-0941 東大利3-6-1	573-5111	573-5111		副委員長		
	副委員長	おおつか みどり 大塚 みどり	〒816-0983 月の浦4-19-7	595-2470	595-2470	○		公明党	
	委員	あまの かたか 天野 嘉久孝	〒816-0955 上大利3-9-13	596-8570	596-8570		委員長	☆自民大野城	
	委員	もり かずや 森 和也	〒816-0983 月の浦2-3-9	596-8508	984-1384	副委員長		副委員長	自民大野城
	委員	ひらい しんたろう 平井 信太郎	〒816-0956 南大利1-13-5	595-4516	595-4516			○	自民まどか
	委員	まつざき ゆりこ 松崎 百合子	〒816-0954 紫台13-17	595-7037	595-7037	○			改革フォーラム
都市環境委員会	委員長	やまかみ たかあき 山上 高昭	〒816-0971 大字牛頸270	自 596-5515 事 595-8154	596-5515	○	○	自民大野城	
	副委員長	せきい としお 関井 利夫	〒816-0911 大城3-9-17	503-2123	503-2123	○		自民まどか	
	委員	せきおか としみ 関岡 俊実	〒816-0952 下大利1-9-18	574-6363	574-6363	委員長	○	改革フォーラム	
	委員	ふくざわ のぶみつ 福澤 信光	〒816-0955 上大利2-17-5-301	596-4321	924-8890				改革フォーラム
	委員	かわむら やすゆき 河村 康之	〒816-0931 筒井3-9-41	574-4359	574-4359			○	公明党

議会のここが知りたい

〔質問〕議員定数は20名とのことですが、この定数はどのようにして決められているのですか。何か法律の定めがあるのですか。

〔回答〕以前は地方自治法で人口による定数範囲が示されていましたが、現在は定めがありません。議員定数は以前24名でしたが、議会改革の一環として定数が順次見直され、議会の議決を経て、平成23年の選挙から現在の20名になっています。



質問者：古賀 真理子さん

〔質問〕議員数をもっと少なくてもできるのではないですか。

〔回答〕可能かもしれませんが、議員数が少なすぎると、市民の代弁者が少なくなって市民の意見が通りにくくなる可能性があること、また議会の審査能力が低下することも考えられます。議員定数につきましては慎重に検討する必要があると思います。

〔質問〕議会への市民の意見・要望等はどうすればできるのですか。

〔回答〕議会への陳情や請願という方法があります。請願では紹介議員が必要となります。また、市議会ホームページのご意見欄を活用して下さい。



議会だよりは、2月、5月（6月）、8月、11月の年4回発行予定です。

委員長 白石重成
副委員長 森 和也
委員 井福大昌
中村真一
平井信太郎
河村康之

**新しい
広報委員決定**
より多くの人に読んで、見てもらえるように、分かりやすい議会だより・議会ホームページを目指し、大野城市議会に関する情報をお届けします。

平成27年第3回6月定例会(予定)

6月 1日(月)10:00～本会議 提案理由説明
5日(金)10:00～本会議 質疑・付託
8日(月)10:00～各常任委員会 10日迄
12日(金)9:30～本会議 一般質問
15日(月)9:30～本会議 一般質問
19日(金)10:00～本会議 報告・討論・採決

本会議・各委員会は傍聴できます。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

先の4月26日に行われた、4年に1度の大野城市議会議員一般選挙で選ばれた20名の議員で、新たな市議会がスタートしました。みなさん、投票には行かれましたか？
地方政治は、議会と首長の双方が直接選挙で選ばれる二元代表制と呼ばれる制度をとっています。
これは、議会と首長がお互いを牽制しながら切磋琢磨して、よりよい政治を実現しようという制度です。「投票に行って終わり」ではなく、議会がその役割をきちんと果たしているか、市民の皆さんの厳しくもあたたかい目で、4年間しっかりと見届けて下さい。

(D・A)

あんな